

⑬【新潟県立十日町病院】

住 所	〒948-0055 新潟県十日町市高田町三丁目南32-9		病床数：275床
診療科目	内科、脳神経内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科		
研修責任者名	角道 祐一（診療部長）	連絡先：shomu@tokamachi-hosp-niigata.jp 025-757-5566（代表）	連絡先担当者名：馬場 伸二（庶務係長）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：1人、24年度：2人、25年度：2人、26年度：0人、27年度：0人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：0人、令和元年度：0人、2年度：0人、3年度：0人、4年度：0人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数		学会認定指導医数
必修：内科、救急部門、外科（消化器外科）、小児科 選択研修：整形外科	内科6人、外科3人、産婦人科1人、整形外科4人、小児科1人		外科3人、整形外科2人
施設の概説・特徴			
<p>当院は世界一の豪雪都市である十日町市の街中に位置し、津南町や長野県栄村も含めた越後妻有地区における約6万人の命を預かっており、平成19年度より管理型臨床研修病院、平成22年度から基幹型臨床研修病院として認定されました。年間約2,000台の救急搬送を一手に引き受け、小児から高齢者まで総合的に医療を提供すると同時に、多職種連携協働および地域包括ケアのサポート、さらには中山間地のへき地巡回診療までこなす地域中核病院（マルチホスピタル）です。とくにあの中越地震を教訓として災害医療にも力を注ぎ、BLS、ICLS、JPTECやメディカルラリーなどに適宜開催・参加するのみならず、平成21年2月からスポット型ドクターカーの運用を開始、そして平成28年5月には県立病院としては初めて地域救急ステーションが院内に設置されました。令和2年9月には新病棟が完成し、新外来棟と合わせ全て全部開院となっています。平成26年4月からは日本プライマリ・ケア連合学会認定の「後期研修プログラム（Ver.2.0）」、平成30年4月からは日本専門医機構認定「総合診療専門研修プログラム」を運用しています。どんな医師になるか、どの医療分野に進むかに関わらず、「あなたの夢を叶えるための病院」です。</p>			
研修受け入れ可能診療科の説明			
<p>内科：内科医師群が手厚く指導いたします。さらに常勤体制の神経内科をはじめ消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、膠原病・リウマチ・アレルギー、内分泌代謝などの内科専門領域における研修も可能です。さらには、レジオネラ肺炎、キノコ過敏性肺炎、マムシ咬傷、ツツガムシ症など地域医療特有の疾患や高齢者疾患を多数経験できます。</p> <p>救急：DMATとの合同研修、院内BLS講師、BLS、ICLS、JPTEC受講を勧めています。</p> <p>外科◆：腹腔鏡・胸腔鏡手術は県下に誇る症例数、優秀な指導陣であり、小児から高齢者まで多くの外科疾患を経験する事が可能です。整形外科領域においては、外傷と骨折、高齢者疾患など将来ニーズの高いプライマリ・ケア領域該当症例が多く、将来整形外科を目指す方には特にお勧めです。脳神経外科も常勤体制であり、脳血管疾患から腫瘍まで専門医がみっちり指導します。</p> <p>小児科+産婦人科：十日町圏域で唯一の小児科入院施設で、新生児を専門としています。小児科と産婦人科の連携が良く、周産母子管理の研修に最適です。また学校保健など行政との関わりも多く、将来小児科を専攻するかもしれない方には絶好の研修環境です。</p> <p>地域包括ケア病棟の管理を通したリハビリテーション研修も可能です。</p>			
研修の概説と特徴			
<p>手作りカリキュラムで自分に合ったスケジュールを作れます。診療科同士の垣根が低く同時期に複数科にわたる研修も可能です。また仕事中でもそうでない時も、研修医のことはいつも誰かが見てくれています。越後妻有・十日町圏域のすべての地域の医療を担っているため、全人的包括的なプライマリ・ケアとしての研修に最適です。また山間部豪雪地における巡回診療や十日町圏域の医療者救急研修施設です。BLSの指導を定期的に行い、救急対応に自信が持てます。</p>			
研修医の当直			
<p>原則として研修1年目は月に2～3回程度、指導医とともに副当直として当直を行う。日曜や祝日救急業務研修を自主的に行う事も出来ます。研修2年目からは概ね月4回程度の当直業務をこなしてもらいますが、個々の研修状況により適宜相談して組んでいきます。なお夜勤免除が必要な方や当直翌日の診療義務免除の希望などは充分配慮いたします。当院は24時間365日において全科医師の拘束体制をとっており、昼夜問わずほとんどの医師が院内もしくは近傍に居ますので、安心して当直研修を行うことができます。</p>			
処 遇			
<ul style="list-style-type: none"> ●給与：1年次（月額基本給）350,000円（諸手当）宿日直手当42,000円／月（月4回勤務の場合） 2年次（月額基本給）400,000円（諸手当）宿日直手当84,000円／月（月4回勤務の場合） 当直手当、超過勤務手当、学会出張費などがあります。 ●食事：多くの医師は宅配業者から昼弁当を取ります。病院周囲の食堂からの出前も取れます。院内にコンビニエンスストアがあります。 ●宿舍：借り上げ宿舍・個人準備 住居手当あり（上限27,000円）。病院所有3階建職員宿舎に入居可。 ●居室：研修医室があります。 ●図書・文献：毎月購入の研修医用雑誌は「レジデントノート」。その他に各科の専門誌が和文誌28誌、英文誌3誌あり、Up To Date及び医学中央雑誌の電子検索可能。 ●インターネット環境：研修医室に端末があり、インターネット接続してあります。医師は病院のサーバーを通して、個人のアドレスを与えられ自由に使っています。医局・研究室にWi-Fi環境があります。 			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。

◆令和6年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手術と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。